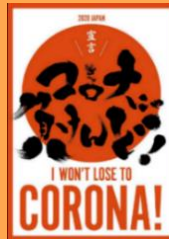


27年度補正

ものづくり
技術

元田技研株式会社



ボトルネック工程の生産能力増強に向けた焼付塗装設備の導入



荷重取扱作業用バランサー（商品名ワイマン）

塗装工程の改善が必要であった

当社は荷重取扱作業用バランサー（商品名ワイマン）の専門メーカーである。ワイマンの売上は、この2年で急激に増加し、外注比率を高めることで増産に対応してきたが、生産性が悪く納期に支障をきたしていた。また、塗装品質に対する要求も高くなっていったが保有設備では塗装品質を高められない状況にあった。従来の塗装設備は密閉型ではないため、外気温に左右され、塗料の飛散もあり作業環境も悪かった。塗装工程の外注化も検討したが、運搬・梱包等の問題解決が困難であることから設備導入が必要であった。



塗装乾燥炉ユニット

こんな会社です



代表取締役 元田公之

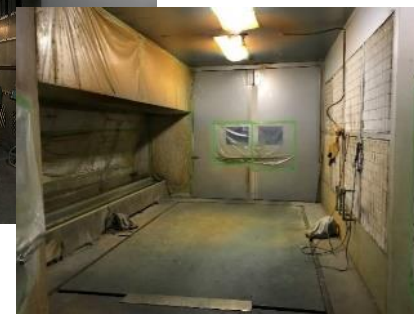
作業現場で働く方々の「困った」を解消したい

バランサーの開発・製造を始めて50年以上、設計から原材料の仕入れ、加工、塗装、組立、電気制御まで一貫生産しています。ありとあらゆる重量物を持ち上げ、挟んだり、回転させたり、自由にハンドリングできるバランサー「ワイマン」は、重量物を扱う作業現場にはなくてはならないものです。トラックのバンパーや飛行機のタイヤ、電車の車輪、鉄のロール材……それまでは数人がかりで移動していた重量物も、バランサー「ワイマン」を使えば1人で楽に作業ができるようになります。あらゆるご要望を形にして、これからも人に親切なバランサー「ワイマン」を提供してまいります。

塗装乾燥炉ユニットの導入で塗装品質向上と塗装工程時間の大幅短縮を図った



塗装ブース



ボトルネックであった塗装工程を改善するために塗装乾燥炉ユニット（塗装ブース及び乾燥炉ブース）を導入した。バランサー「ワイマン」の部品の塗装工程（塗装及び乾燥）の生産能力が、従来に比べ1.6倍になることが判明した。外気温度に左右されない安定した焼付塗装が可能となったことで塗装硬度や耐久性が高まり塗装品質要望に応えられる体制が整った。

塗装工程の改善により計画的生産が可能になった！

1回当たりの乾燥量が従来設備の3倍になり、乾燥冷却にかかる時間が2.5時間から1.0時間に短縮するなど、生産性が大きく向上した。導入した設備で焼付塗装が可能となったことから、耐久性が高まり、これまでの設備では生産性が悪く納期に支障をきたしていたが、天候等に左右されないことから計画的生産が可能となった。併せて設備が密閉式であることから塗料の飛散が抑えられ作業環境も大きく改善した。



塗装風景

世界でも通用するトップクラスの製品づくりを目指す



ベーシックワイマン

バランサー「ワイマン」は荷役運搬現場での作業効率の向上、省スペース・省コストを実現する重要な設備として広く使用されており、これまでに3万台以上を販売してきた。対象ワークを「つかむ・すくう・吸着する・まわす」に対応した各種アタッチメントやアクセサリを揃えて、あらゆる重量物の作業の手助けを強力に進めている。現在、コロナの影響で受注が落ち込んでいるが、当社は日本のものづくり企業として、世界でも通用するトップクラスの製品づくりを目指しており、海外進出を視野に入れ、アジア各国への進出（現地生産）を進めていく。

info

元田技研株式会社
代表取締役 元田 公之

事業実施場所
〒895-1502
鹿児島県薩摩川内市祁答院町蘭牟田1237
TEL 0996-31-8009
FAX 0996-31-8008
<http://www.motoda-giken.co.jp/>
本社所在地
東京都新宿区西新宿4-32-4 ハイネスロフティー3階

設立 平成12年11月
資本金額 1,000万円
従業員数 17名
業種 生産用機械器具製造業



九州サービスセンター・鹿児島工場